平成30年度当初予算

暮らしの安心と元気創造予算

前年度比7.1%増 過去最大

435億円

財務課 ☎24-8803

お城の桜も咲き始め、良い時候になってきました。

さて、平成30年度の一般会計予算の概要をお知らせします。総額は435億円で、前年度に比べて29億円、率にして7.1%の増となっています。市税や各種交付金などの増加が見込まれますが、扶助費や公債費などの増加で、基金からの繰入金が増加となる厳しい状況の中、暮らしやすさの実感につながるような各種施策を実行する「暮らしの安心と元気創造予算」として編成しました。それでは一緒に見ていきましょう。

歳入

市税や地方交付税、臨時財政対策債など、経常的な一般財源の総額は約253億5300万円で、前年度に比べ約3億8700万円の増加となっています。地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税総額は4300万円の増額を見込んでいます。

市税は、法人市民税が減額となる一方で、景気回復に伴う個人市民税の増額や、企業の設備投資などによる固定資産税の増額などで、前年度と比べ2億円、率にして1.5%の増を見込んでいます。

譲与税および交付金は、地方消費税交付金の増加などで、全体としては前年度と比較して1億3800万円、率にして5.4%の増を見込んでいます。

分担金および負担金は、水道事業体の香川県広域水道企業団への統合に伴い措置する市派遣職員の職員給などを同企業団から負担金として受け入れることなどから、約2億5000万円の増となっています。

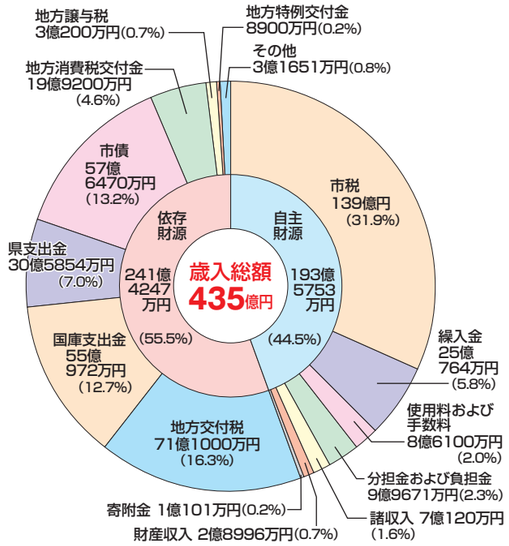
国・県支出金は、公共事業関係費や扶助費の増加などにより、全体として約3億7600万円の増となっています。

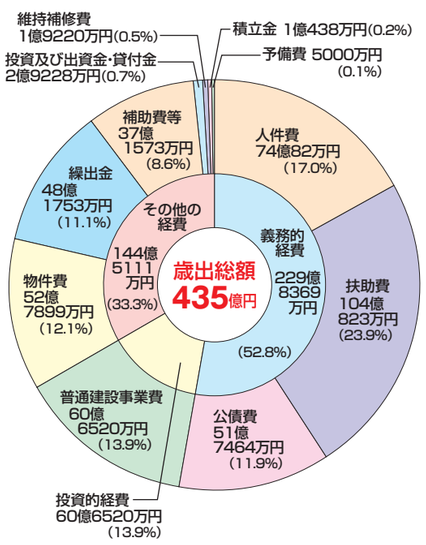
諸収入では、モーターボート競走事業からの収益収入として前年と同額の1億円を計上しています。

市債は、市庁舎やコミュニティセンター、保育所・学校教育施設などの整備に合併特例債を活用するなど、臨時財政対策債を除く建設地方債で約39億1200万円を発行予定です。

繰入金は、建設事業の推進など目的に沿った基金からの繰り入れのほか、不足する財源を補うための財政調整基金などからの繰り入れとあわせて約24億7400万円を予定しています。

■一般会計予算
歳入・歳出（性質別）構成比





※四捨五入などの関係により、各項目の合計値が一致しない場合があります。

歳出

人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、合計約229億8400万円で歳出全体の52・8%を占めており、前年度と比べ約9億4800万円、率にして4.3%の増となっています。

県広域水道企業団に派遣する職員の職員給などで、人件費が約2億6000万円の増額となるほか、制度の充実や対象者の増加などで、扶助費が約1億8800万円の増、公共施設の耐震化事業に活用した市債の償還などで公債費が約5億100万円の増となっています。

物件費は、地方創生推進のために展開する地域商社事業委託料などが増加することなどから前年度と比べ約1億8100万円、率にして3.5%の増となります。

また補助費等は、産業振興・雇用機会の拡大を図るために新規計上する企業立地促進奨励金や、保育士の処遇改善のための私立保育園等運営補助金の増額などから、前年度と比べ約4億8600万円、率にして15・0%の増となっています。

基金への積立金では、前年度と同様に、運用利子やモーターボート競走事業収益金の1億円を積み立てます。

各特別会計への繰出金は、引き続き社会保障関係の特別会計に対する繰り出しが増加するため、前年度と比べ約1億1200万円、率にして2.4%の増となっています。

投資的経費は、市庁舎や城辰保育所、コミュニティセンターなどの改築、改修事業に伴い、前年度と比べ約11億6600万円、率にして23・8%の増となっています。

経常収支比率

財政の弾力性を示す経常収支比率は、市税収入などが増加するものの、扶助費や繰出金に加え、公債費が大きく増加することなどから97・9%となり、前年度と比べ0.6ポイントの硬直化となっています。

特別会計および公営企業会計

特別会計では、高齢化の進行に伴う介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計、新浄化センター建設の本格化に伴う公共下水道特別会計は増額となりますが、国民健康保険制度が平成30年度から県主体での運営となることから国民健康保険特別会計が大きく減額となり、8つの特別会計の総額は約266億2100万円となり、前年度と比べ25億6700万円の減となっています。

モーターボート競走事業会計は、SGボートレースメモリアルやGI京極賞を開催するほか、来場促進や活性化に取り組み、将来にわたって安定した経営を継続できるよう積極的な営業展開を図っていきます。

平成30年度 主な重点的施策（抜粋）

心豊かな子どもと文化を育むまちづくり

私立保育園等保育士処遇改善事業補助金　976万円

保育士の確保対策として、私立保育園等が保育士の賃金等を上乗せする場合に補助金(月額3,000円／人)を交付し、保育士の処遇改善を図る。

新市民会館整備事業費　2269万円

新市民会館の整備に向けて、基本構想の策定を終え、市民座談会を開催しながら、整備基本計画と管理運営計画の策定に取り組む。

郡家青い鳥教室施設整備事業費　340万円

対象児童数の増加に伴い、郡家青い鳥教室を整備し、放課後の子育て環境の充実を図る。(郡家第3青い鳥教室)

健康で安心して暮らせるまちづくり

市庁舎等複合施設整備事業費　3億1027万円

市庁舎と市民交流活動センターの複合施設整備に向け、基本設計・実施設計を完了し、工事に着手する。

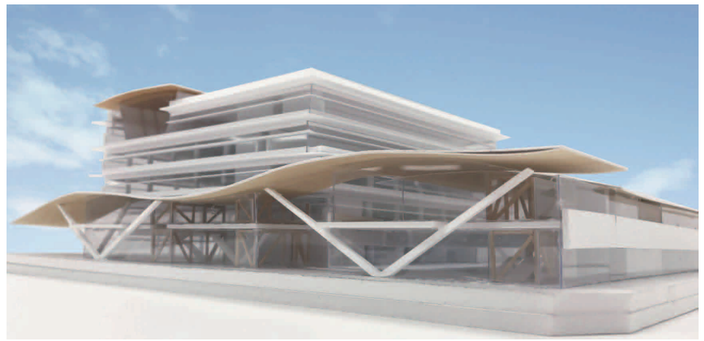
みんなが躍動するまちづくり

総合運動公園駐車場整備事業費　1250万円

総合運動公園の利便性を高めるため、さらなる駐車場整備に向けた都市計画決定の変更手続や、基本設計業務に取り組む。

地方創生推進地域商社事業費　8606万円

地域の稼ぐ力を強化するため、特産品の掘り起こしや商品開発を行い、静岡県西伊豆町と共同で委託する地域商社首都圏機能での販売などを通じて、首都圏および海外での商流を確立する。



新市庁舎のイメージ図

■特別会計および公営企業会計の規模

会計名		当初予算額	増減率(%)
特別会計	国民健康保険特別会計	119億3100万円	▲22.1
	国民健康保険診療所特別会計	1億 720万円	▲1.4
	公共下水道特別会計	41億2400万円	21.4
	農業集落排水特別会計	1億6740万円	▲3.8
	駐車場特別会計	1億1380万円	▲2.0
	後期高齢者医療特別会計	13億4100万円	4.4
	介護保険特別会計	87億3500万円	0.4
	介護保険サービス事業特別会計	1億 200万円	7.8
特別会計 合計		266億2140万円	▲8.8
モーターボート競走事業会計		818億4624万円	25.2

丸亀市の市外局番 0877